



沖縄には、琉球と中国が繋いだ結婚式がある。

中華系富裕層男性がターゲット！

那覇市「福州園」が舞台の中国伝統結婚式。

アニバーサリーエージェントから、

2025年2月13日、販売開始。



ANNIVERSARY AGENT



株式会社チコ

東京都中央区日本橋富沢町 8-7 サンビル 4F

103-0006 San Bld 4F, 8-7 Nihonbashi-Tomizawacho Chuo-ku TOKYO

03 5643 6543

info@weddinglife.style



沖縄には、琉球と中国が繋いだ結婚式がある。

僕たちは上海で出会った。こんなに果てしない地球という中で。
ふたりとも出身は、中国の小さな田舎町。それでもこんな広い中国の中で巡り合った。
いろんなことを話すうちに、お互いが日本、特に琉球文化に興味があることを知った。

中国の王朝と琉球王朝は限りなく似ている。けれど、琉球王朝は別物だ。

歴史のどこかで接点はあったに違いない。

琉球の話をするうちに、僕は自然と恋に落ちた。そして人生を共にする決断をした。

今の時代、結婚式はしなくていいかもしれない。

どうしてもというなら、お互いの両親を「僕らの暮らす街」上海に迎えてでも良かった。
でも、どうしてふたりで生きていこうと決めたかを、みんなに知ってもらいたかった。

中国と琉球…今は沖縄。沖縄は、上海からそう遠くはない。

そして、中国国内から出たことのない両親への親孝行にもなるかなと思った。

暖かくて美しい海。2月にはもう桜が咲く沖縄。うってつけの場所。

友人も含めて総勢20名、全員中国人。日本語が何となく話せるのは、僕らふたりと数名のみ。

結婚式の場所は、那覇市にある福州園という、中国に縁のある場所を抑えた。両親も安心してくれるはず。
その式。みんなは神様に愛を誓う。僕は違う。産んでくれた互いの両親に感謝を伝える式、自分たちの言葉で。
先祖から連綿と続いてきた僕らの命。先祖を敬うという意味も込めて、中国の風習、敬茶の儀式とともに。

中国だとジャスミン茶…沖縄だとさんびん茶。

まったく同じではないがほぼ同じお茶を飲む文化が二つの都市にはある。

中国と沖縄を、僕らと両親を、結婚式が、そしてお茶が繋いでくれたような気がした。

祝宴では、エイサーや沖縄舞踊など、沖縄らしい演出も盛り込む。

翌日は、バスを1台チャーターして、沖縄本島を連れまわす計画。

両家が、そして終生の友が、日本という海外で、数日間刻を共有するということは今後ないだろう。

もちろん僕らが出会わなかったら、その企画すらなかった。

バスの座席ポケットには、みんなへのプレゼント、日本製の水筒を人数分用意した。

色々な種類の茶葉とともに。もちろん、さんびん茶も。

酒もいいけど…お茶で酔うのもまた一興。

沖縄のところどころに今もある、琉球の古の風に吹かれて。





CICO Inc
lifestyle produce

PRESS RELEASE

2025年02月10日

中華系富裕層男性がターゲットの沖縄ウエディング

那覇市「福州園」が舞台の中国伝統結婚式の販売がスタート！

<https://weddinglife.style/lifestyle/74619/>



富裕層男性をターゲットに、ヨーロッパやアジアの高級ホテルや邸宅、ワイナリーなどで、高級海外挙式やMICE 事業を手がけるアニバーサリーエージェントは、既に提供を開始しているサービス「サステナブル沖縄 Mice.Wedding」から、日本、中国、香港、台湾、シンガポールやマレーシアの華僑など、富裕層の中華系男性をターゲットに、那覇市にある福州園を舞台とした結婚式の販売を2025年2月13日より開始します。

決して多くはありませんが、今まで、外国人が日本で結婚式を挙げることはありました。そこが沖縄であれば、海の近くであれば、持参したウエディングドレスを着て、青い海を望む白亜の教会で挙式。それがオーソドックスでした。私たちは少し異なった視点から、沖縄にアプローチしたい。そんな思いからスタートしたのが、サステナブル沖縄 Mice.Wedding です。テーマは「人と人、人と世界、人と自然のつながり」。沖縄の自然や沖縄らしさを存分に味わえ、沖縄の自然を十分に感じられる場所を重要視しています。今回、結婚式のご提案を開始する、那覇市にある福州園は、中国と沖縄の切っても切れない縁のような場所。ある意味、沖縄の歴史を象徴するひとつでもあり、すでに多くの中華圏のお客さまも観光で訪れています。近年、日本だけでなく、中国や香港、台湾でも、結婚式の意味が薄れつつあります。一方で、ごく親しい家族や友人を招いて行う小規模の結婚式が人気。そこに私たちは親孝行という目的も組み込み、伝統的な中国挙式と、沖縄観光を組み合わせ、ふたりが主役になって皆をもてなす機会を沖縄で提案したいと考えました。このありそうで今まで形になっていなかった切り口で「世界の沖縄を目指す」その一役に近づきます。

アニバーサリーエージェントを運営する株式会社チコの代表、佐藤健治は、今まで、皆喜（中国版ゼクシィ）創刊イベント、中国国内の高級ホテルでの婚礼、中国国内の結婚式場講師など、新しい形の結婚式を提案するプロデューサーとして、中国をはじめアジア圏も含めて縁を着々と築いてきました。ネットワークは、繋げていくもの。繋がっていくもの。一本の線ととらえ、この商品を中華圏の婚礼企業や旅行代理店に、そしてお客様へとアプローチして参ります。

アニバーサリーエージェントは、ライフスタイルコンシェルジュとして、プロポーズや結婚式を入口に、人生後半戦となる、生前葬などのエンディング領域まで幅広くお付き合いをしたいと考えています。目指すは、ライフタイム・バリュー（生涯顧客化）、約50年のお付き合いの中に、独自の商品やサービスを拡充していきます。



ANNIVERSARY AGENT

株式会社チコ 東京都中央区日本橋富沢町8-7 サンビル4F

103-0006 San Bld 4F, 8-7 Nihonbashi-Tomizawacho Chuo-ku TOKYO 03 5643 6543 info@weddinglife.style

補足資料



福州園について

〒900-0033 沖縄県那覇市久米 2-29-19
<https://www.fksn-okinawa.jp/>

福州園は、中国福建省福州市と那覇市の友好都市締結10周年と、那覇市市制70周年を記念して、1992年に開園しました。福州市と那覇市との関係は、日本史では鎌倉時代である、14世紀に遡ります。そのころの琉球王国は、大貿易時代を迎え、大いに繁栄していました。その繁栄を支えたのが、福建省から移住してきた久米村（クニンダ）の人々でした。クニンダの人々は、通訳や航海術などの専門技術を持ち、その後の琉球王国の教育にも大きな影響を与え、琉球初の公立学校「明倫堂」もこの地に設立されました。福州園のある那覇市久米は、まさにクニンダがあった場所なのです。



2022年の福州園リニューアルでは、ロゴも新しくなりました。その文字を書いてくださったのが、ご存じ MONGOL800 のドラマー高里悟氏。同氏は、音楽以外にも釣りやファッションなどでも活躍している、実は多才な人物。書道家としての顔もその一つで、大学では書道を専門とした学科を卒業しているほど。高里氏による書も、園に加わったアート作品のひとつとしてお楽しみください。

株式会社チョコについて

ライフスタイルプロデュース！をテーマに、富裕層をターゲットとしたコンシェルジュサービス、結婚式や記念日、企業イベントや MICE のコーディネート、美術品や不動産の販売、ホテルや飲食店・SPA の企画開発、M&A の仲介サービスを、日本と中国を中心としたアジアを舞台に展開。

アニバーサリーエージェントについて

記憶と記録に残る記念日をテーマとしたライフスタイルコンシェルジュとして結婚を入口に新生活からエンディングまで顧客の一生にわたる付き合いを目指した生涯顧客化サービスを展開。ターゲットを富裕層のみに特化し、特徴的かつラグジュアリーをキーワードとした「ハコ・ヒト・モノ・コト」コンテンツを提供しています。

株式会社チョコ/アニバーサリーエージェント

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 8-7 サンビル 4F
03-5643-6543
info@weddinglife.style
<https://weddinglife.style/>



ANNIVERSARY AGENT